

RAMシリーズ用モニタの構成機器

PDF [20210228_RAM_MonitorfortheSeries_SystemComponents.pdf](#)

製造会社	(株) エイブル
機器名	9.1型互換モニタ
機種名	E7091A-R5
製造番号	—

A. 対象装置（機種）、対象機器

弊社の9.1型互換モニタE7091A-R5（以下、互換モニタと言う。）に
代替え（交換）可能な対象装置（機種）、対象機器は、下記の通りとなります。

1. 対象装置（機種）

ケー・イー・エム（株）製アッシング装置RAMシリーズ
RAM-200, RAM-250, RAM-6500, RAM-8500, RAM-8500 II, RAM-61000

2. 対象機器

2. 項の図 1. に示す機器を組み合わせた既存モニタが対象となります。

B. 構成機器

1. 表示部の構成機器

既存のRAMシリーズ用モニタの表示部は、図 1. と図 2. に示す構成機器にて構成されています。

図 1. に示す E L モニタと映像ケーブルは、弊社の互換モニタに代替え（交換）した事例です。

映像ケーブル ※交換する。

映像用コネクタ

電源用コネクタ
+5VDC
+24VDC

RGBインターフェース基板 ※流用する。

映像入力仕様	メーカー	型式
デジタル仕様	富士電機（株）	L640F005
		L640F006
	東ソー（株）	LF-640-001
		LF-640-005
アナログ仕様	富士電機（株）	L640F006A

E L モニタ ※交換する。

	メーカー	型式
既存モニタ	富士電機（株）	L640M400C
		L640M400CX
		L640M400CTS05
		L640M400CTS06
	LOHJA Corp	MD640.400-52
		MD640.400-54
互換モニタ	東ソー（株）	LET640.400TS-5 24
	(株) エイブル	E7091A-R5

図 1. RGBインターフェース基板, E L モニタ

E L モニタ
※交換する。

アクリル板（茶色の樹脂）
※流用する。

図 2. アクリル板

2. タッチパネル部の構成機器

既存のRAMシリーズ用モニタのタッチパネル部は、赤外線センサー（発光素子、受光素子）、を用いたキャロルタッチ社製のキャロルタッチ（製品名）が組み込まれており、図3. ～図5. に示す構成機器にて構成されています。

※タッチパネル部の構成機器は、弊社にて修理対応可能です。 ←赤外線センサなど、交換部品の在庫有り！

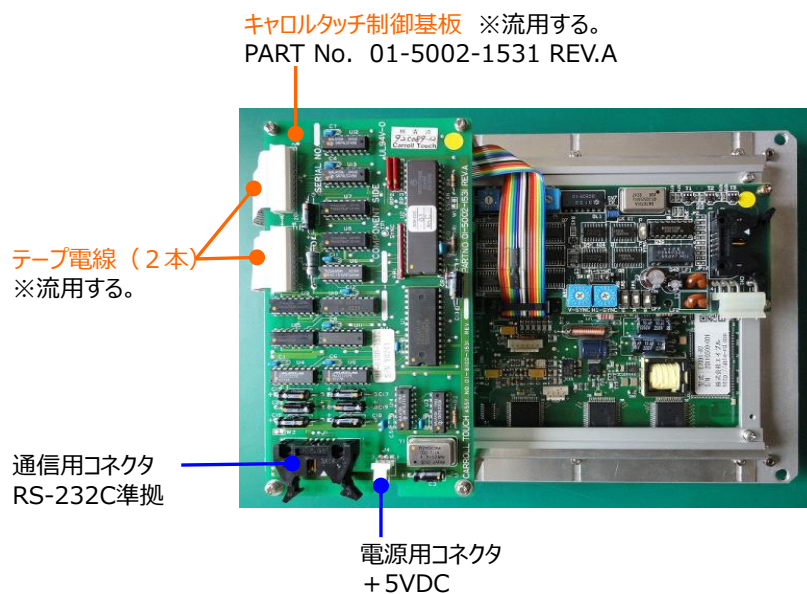


図3. キャロルタッチ制御基板

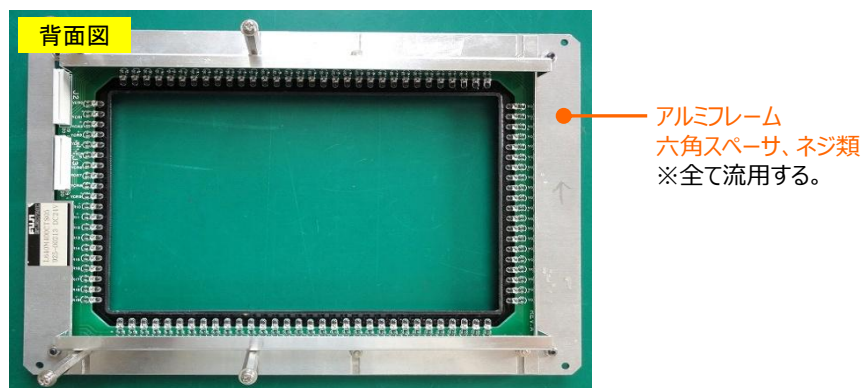


図4. ベゼル, 赤外線センサー基板（背面図）

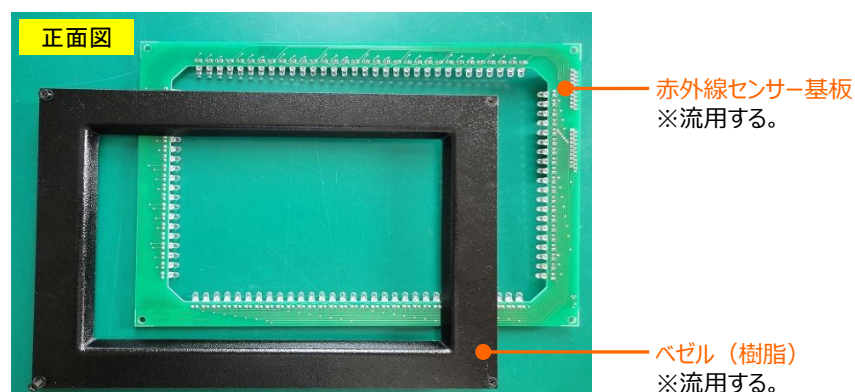


図5. ベゼル, 赤外線センサー基板（正面図）

3. その他（注意点）

（1）既存の E L モニタが LOHJA Corp 社製 MD640.400 シリーズの場合

既存の E L モニタが図 6. に示す LOHJA Corp 社製 E L モニタの場合（表の型式を参照のこと。）、RGB インターフェイス基板は、図 6. に示す **A 部** のアルミフレームと **B 部** の電源基板の 4 ヶ所にて固定されています。

ただ、弊社の互換モニタに代替え（交換）の際は、互換モニタには図 6 に示す **B 部** に相当する固定部は無く、RGB インターフェイス基板を固定することが出来ません。

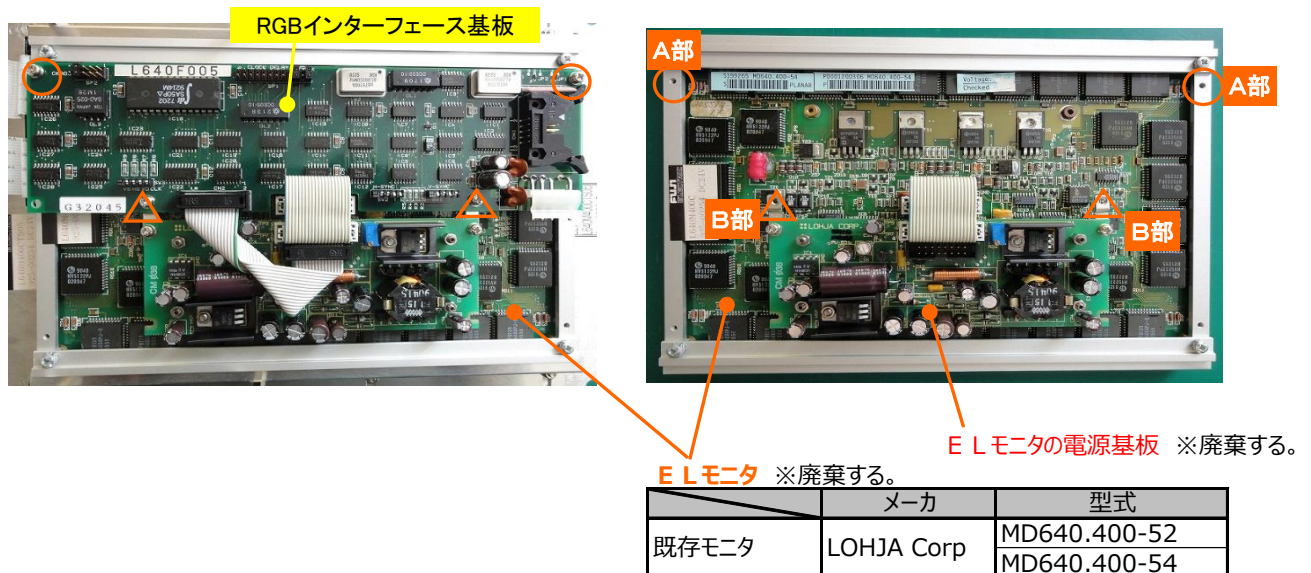


図 6. LOHJA Corp 社製 E L モニタの構成図（背面図）

上記の対応策は、

他の E L モニタに使われている図 7. に示す **C 部** の RGB インターフェイス基板の取り付けステー（左右 1 個、計 2 個）を使い、RGB インターフェイス基板を図 7. に示す **D 部** のアルミフレームに固定すれば解決できます。

その対応策を施した事例は、図 8. に示す写真をご確認ください。

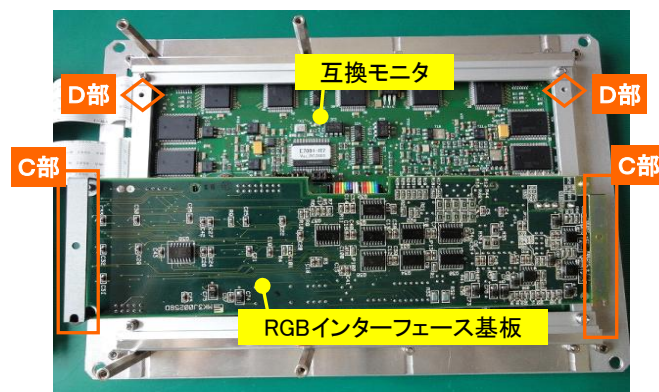


図 7. RGB インターフェイス基板の取り付けステー

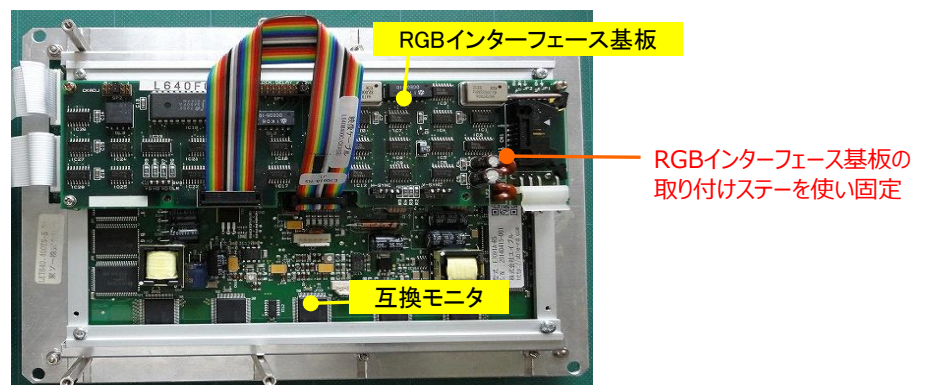


図 8. RGB インターフェイス基板の状態（固定時）

1. 概要

動作検証機器は、対象となる既存モニタ、互換モニタを単体にて動作させ、既存モニタ、互換モニタの機能チェック（表示状態、キャロルタッチの動作状態および座標データの確認など。）を可能にする専用機器になります。

弊社は、この動作検証機器を用い、既存モニタ、互換モニタの機能チェック、調整、24時間のエージング作業を行い、既存モニタ、互換モニタが正常に動作することを確認した上で出荷しています。
また、既存モニタ、互換モニタが故障した際は、故障個所の解析作業に動作検証機器を活用しています。

2. 対象機器

A. 項の「2. 対象機器」に記載できる対象機器が全て対応可能です。

なお、下記に示すキャロルタッチ制御基板（PART No.）は同様の対応が可能です。←対応実績も有ります。

- (1) 01-5002-1531 REV.A RAMシリーズ
- (2) 5002-2300-01 REV.B RAMシリーズ（旧製品）
- (3) 01-5002-1230 REV.A MASシリーズ
- (4) 01-5002-1320 UMA-802シリーズ

3. 動作検証機器との接続

対象となる既存モニタ、互換モニタを単体にて動作させるため、

図9. に示す電源コネクタ（2本）、映像コネクタ、通信コネクタを弊社の動作検証機器に接続します。

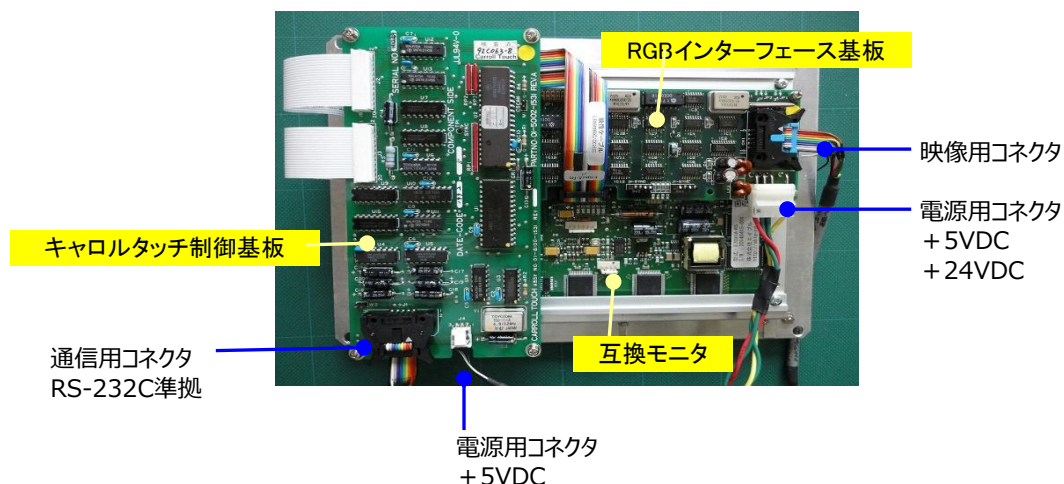


図9. 動作検証機器の接続例

4. 動作検証機器による表示例

動作検証機器は、図10. に示す対象となる既存モニタ、互換モニタの動作状態を表示、確認することが可能です。



図10. キャロルタッチの動作画面の表示例